

作る・売る・食べる
すべての人が
喜んでくれること
それが一番うれしい

仕事について

オホーツクで働く人に
あこがれて

東京出身ですが、小学生のころ何度か滝上にキャンプに来ていました。全国から小学生が集まって、ふつうにキャンプをする子もいれば、農家さんの手伝いに行く子たちもいて。私は毎年、農家さんの手伝いをしていました。その時の働く農家さんの姿がカッコ良くて、酪農家(らくのうか)になろうと決めました。専門学校で畜産(ちくさん)の勉強をして、卒業後は滝上に移住し、酪農ヘルパーとして働きました。酪農をやるならチーズ作りと決めていたので、一度、東京へ戻り、食品会社のチーズ部門で働いたあと、再び滝上に移住。自分でチーズ作りを始めたのは私が30才の時です。初めは、私が理想とするチーズが日本にはなく、作り方を知っている人もいなかったのでゼロからのスタートでした。分析(ぶん

せき)と失敗を何度もくり返しながら31~32才の時に完成。チーズは現在、全国に出荷しています。たくさんの方の協力があって、今があります。現在も世界中のチーズ職人と情報交換をしたり、時々現地に行って作り方を学んでいます。



生乳を固めてチーズに仕上げているところです

オホーツクへの想い

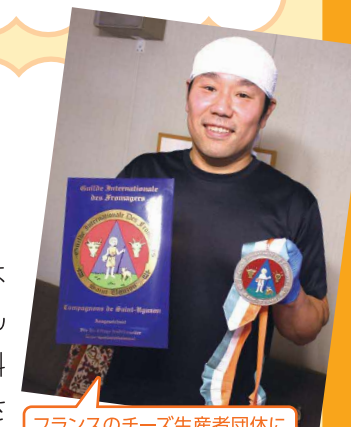
北海道らしさを味わえる場所

小さいころ、滝上に来た時に感じたことは、「自然ってスゴイな」ということ。とにかく、力強さを感じました。冬にマイナス30度になったかと思うと夏には30度をこえる。オホーツクは環境が厳(きび)しい分、北海道のおもしろさを味わえる土地だと思います。冬には流氷が来るので海産物がおいしいし、都市部にも近いので住みやすいですね。

地域との関わり

地元農家さんの喜びが
最高にうれしい

お客さんの「おいしい」という言葉はもちろんうれしいです。でも、お客さんが喜んでくれるだけではなく、その原料となる牛乳を作っている地元の農家さんが喜んでくれることが一番うれしい。「作る・売る・食べる」がうまくつながって、みんなが喜んでくれたときは最高ですね。うちのチーズを町の特産品と言ってもらえることもありがたいです。



フランスのチーズ生産者団体に推せん入会しました

メッセージ

自分の「夢」を大事に
やりたいことにチャレンジして

「夢」はすごく大事なものです。「カッコイイな」「やってみたいな」と思ったら、まずはチャレンジしてほしい。どの仕事も大変なところはありますが、その職業があるということは、それで生活をしている人がいるということ。がんばれば、必ずその職業に就くことができます。あとは「やりたい」という気持ち。今は情報が集めやすい環境にあるので、いろいろな職業と出会い、ふれる機会もあると思います。できるできないは考えず、まずは自分の「夢」を見つけ、やってみることが大事。



つきむら よしたか
月村 良崇さん

〈プロフィール〉

●出身/東京都 ●勤続年数/14年 ●所属・役職/代表 ●モットー/「何事も楽しくがんばりぬく」

〈勤務会社〉株式会社月のチーズ 〒099-5614 滝上町札久留 TEL:0158-29-2852